



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月3日

上場会社名 三洋化成工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4471 URL <https://www.sanyo-chemical.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 章憲
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員事務本部長 (氏名) 西村 健一 TEL 075-541-4312
 四半期報告書提出予定日 2022年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	44,336	16.5	1,956	△36.7	4,259	18.9	2,536	15.6
2022年3月期第1四半期	38,057	16.0	3,091	26.0	3,581	37.3	2,193	47.2

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 3,986百万円 (116.9%) 2022年3月期第1四半期 1,837百万円 (△44.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	115.00	—
2022年3月期第1四半期	99.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	208,459	149,182	70.3	6,643.02
2022年3月期	200,194	147,032	72.2	6,549.60

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 146,540百万円 2022年3月期 144,479百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	85.00	—	85.00	170.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	85.00	—	85.00	170.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	98,500	27.1	5,500	△7.1	5,700	△16.9	3,700	△16.3	167.73
通期	206,000	26.7	12,500	5.3	13,000	1.8	8,500	26.9	385.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	23,534,752株	2022年3月期	23,534,752株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,475,459株	2022年3月期	1,475,417株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	22,059,325株	2022年3月期1Q	22,046,266株

(注)取締役等を受益者とする信託が保有する当社の株式は期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報)	11
3. 補足情報	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の制限が徐々に緩和され、個人消費や輸出に持ち直しの動きが見られましたが、サプライチェーンの混乱や原材料・部品の供給制約が続くなど依然として厳しい状況となりました。世界経済は、米国・欧州が経済活動の正常化を背景に景気が回復基調にあり、中国も主要都市のロックダウンが6月に入り漸く解除され景気が持ち直しつつあるものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による資源エネルギー価格の高騰、金融引き締めを通じた世界的な景気減速懸念など、先行き不透明な状況にあります。

化学業界におきましては、為替相場は米国の利上げなどにより足元で急激に円安が進み、原油価格は供給不足から高止まりするなど、事業環境は予断を許さない状況にあります。

このような環境下における当第1四半期連結累計期間の売上高は、原料価格上昇に伴う販売価格の改定などにより443億3千6百万円(前年同期比16.5%増)となりました。利益面では、原料価格上昇に伴う売買スプレッド縮小や販売量の減少などにより営業利益は19億5千6百万円(前年同期比36.7%減)、為替差益の増加などにより経常利益は42億5千9百万円(前年同期比18.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億3千6百万円(前年同期比15.6%増)となりました。

1) 全体の状況

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減		前連結会計年度
			(金額)	(伸び率)	
売上高	38,057	44,336	6,278	16.5%	162,526
営業利益	3,091	1,956	△1,135	△36.7%	11,868
経常利益	3,581	4,259	678	18.9%	12,771
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,193	2,536	342	15.6%	6,699
1株当たり四半期(当期)純利益	99.52円	115.00円	15.48円	15.6%	303.76円
ROA(総資産経常利益率)	7.3%	8.3%	—	1.0ポイント	6.5%
ROE(自己資本当期純利益率)	6.2%	7.0%	—	0.8ポイント	4.7%
為替(\$、元)	\$=¥109.52	\$=¥129.73	¥20.21		\$=¥112.40
	元=¥16.96	元=¥19.60	¥2.64		元=¥17.52
ナフサ価格	47,700円/k1	86,200円/k1	38,500円/k1		56,600円/k1

(注)四半期のROA及びROEは、年換算しております。

2) セグメント別の概況

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間		当第1四半期 連結累計期間		増減		前連結会計年度	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
生活・健康	11,986	95	15,124	122	3,137	27	54,922	1,966
石油・輸送機	10,354	1,173	11,526	659	1,171	△514	42,540	3,759
プラスチック・繊維	6,570	1,093	7,126	794	555	△298	25,466	3,713
情報・電気電子	5,101	685	5,938	628	837	△56	20,989	2,511
環境・住設	4,044	384	4,620	121	575	△262	18,607	1,589

なお、当第1四半期連結累計期間より、報告セグメントに帰属しない新規事業にかかる研究開発費の配賦方法の見直しをしております。前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度の営業利益は変更後の配賦方法で算出した数値です。詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」をご参照ください。

<生活・健康産業関連分野>

生活産業関連分野は、ポリエチレングリコールが中国・上海市でのロックダウンの影響により需要が減少したものの、ヘアケア製品用界面活性剤が海外向けに売り上げを伸ばし、また製紙関連薬剤が堅調に推移したことにより、売上高は横ばいとなりました。

健康産業関連分野は、高吸水性樹脂が主力の中国市場およびその他アジア市場において販売が好調に推移し、売上高は大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は151億2千4百万円(前年同期比26.2%増)、営業利益は1億2千2百万円(前年同期比28.7%増)となりました。

<石油・輸送機産業関連分野>

石油・輸送機産業関連分野は、自動車シートなどに使われるポリウレタンフォーム用原料が低調でしたが、自動車内装表皮材用ウレタンビーズ、潤滑油添加剤が好調に推移し、売上高は大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は115億2千6百万円(前年同期比11.3%増)、営業利益は原料価格上昇に伴う売買スプレッド縮小などにより6億5千9百万円(前年同期比43.8%減)となりました。

<プラスチック・繊維産業関連分野>

プラスチック産業関連分野は、主力の永久帯電防止剤が低調でしたが、塗料コーティング用薬剤・添加剤が海外向けに売り上げを伸ばし、モデル用材料も大幅に増加したため、売上高は横ばいとなりました。

繊維産業関連分野は、炭素繊維用薬剤が順調に売り上げを伸ばし、また自動車に使われる合成皮革・弾性繊維用ウレタン樹脂の販売が好調に推移し、売上高は大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は71億2千6百万円(前年同期比8.5%増)、営業利益は7億9千4百万円(前年同期比27.3%減)となりました。

<情報・電気電子産業関連分野>

情報産業関連分野は、コロナ禍で落ち込んだオフィスでの印刷需要が回復し、重合トナー用ポリエステルビーズ、粉砕トナー用バインダーの販売がともに好調に推移したため、売上高は大幅に増加しました。

電気電子産業関連分野は、アルミ電解コンデンサ用電解液の需要が大幅に増加したことに加え、半導体不足解消に向け半導体用レジスト原料の需要が旺盛で、販売が大幅に増加したため、売上高は好調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は59億3千8百万円(前年同期比16.4%増)、営業利益は6億2千8百万円(前年同期比8.3%減)となりました。

<環境・住設産業関連分野他>

環境産業関連分野は、海外向け高分子凝集剤用のカチオンモノマーが売り上げを伸ばし、売上高は大幅に増加しました。

住設産業関連分野は、家具・断熱材などに用いられるポリウレタンフォーム用原料の販売が巣ごもり需要の一巡により、横ばいとなりましたが、建築シーラント用原料が堅調に推移し、売上高は大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は46億2千万円(前年同期比14.2%増)、営業利益は原料価格上昇に伴う売買スプレッド縮小などにより1億2千1百万円(前年同期比68.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、前連結会計年度末に比べて82億6千5百万円増加し、2,084億5千9百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べて21億5千万円増加し、1,491億8千2百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末から1.9ポイント減少し、70.3%となりました。

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末残高と比較し15億1千5百万円増加（前年同期は26億5千4百万円減少）し、196億8千7百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、53億6百万円（前年同期は20億1千万円の増加）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益38億9千2百万円、減価償却費24億6千4百万円、仕入債務の増加47億7千6百万円などによる資金の増加が、棚卸資産の増加18億3千7百万円、売上債権の増加10億2千3百万円、法人税等の支払額19億2百万円などによる資金の減少を上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、29億6千4百万円（前年同期は17億2千9百万円の減少）となりました。これは、固定資産の取得に20億2千3百万円を支出したことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、17億5千1百万円（前年同期は29億9千6百万円の減少）となりました。これは配当金の支払額18億5千3百万円による資金の減少などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、予想をやや下回って推移しておりますが、世界情勢ならびに為替・原油相場など、先行きが不透明な状況であることから、2022年5月12日に公表した連結業績予想を据え置くこととしております。なお、2022年5月12日に公表した連結業績予想に対する当第1四半期累計業績の進捗率は、下表の通りです。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
第2四半期累計連結業績予想 (進捗率(%))	98,500 (45.0)	5,500 (35.6)	5,700 (74.7)	3,700 (68.6)
通期連結業績予想 (進捗率(%))	206,000 (21.5)	12,500 (15.7)	13,000 (32.8)	8,500 (29.8)

※ 業績予想は発表日時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,171	19,687
受取手形及び売掛金	44,849	46,995
電子記録債権	1,509	1,036
商品及び製品	16,561	17,622
半製品	4,314	4,780
仕掛品	596	558
原材料及び貯蔵品	6,115	7,073
その他	1,681	1,955
貸倒引当金	△35	△34
流動資産合計	93,764	99,675
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,066	19,510
機械装置及び運搬具（純額）	27,898	29,801
土地	8,853	8,890
建設仮勘定	3,635	1,091
その他（純額）	2,936	3,006
有形固定資産合計	61,389	62,299
無形固定資産		
ソフトウェア	1,283	1,224
その他	3,965	4,602
無形固定資産合計	5,248	5,827
投資その他の資産		
投資有価証券	29,274	29,807
長期貸付金	4,012	4,252
繰延税金資産	378	387
退職給付に係る資産	2,337	2,352
その他	3,819	3,886
貸倒引当金	△30	△30
投資その他の資産合計	39,791	40,656
固定資産合計	106,429	108,783
資産合計	200,194	208,459

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,575	25,147
電子記録債務	4,539	5,541
短期借入金	6,887	7,617
1年内返済予定の長期借入金	850	850
未払費用	4,247	4,244
未払法人税等	1,892	1,015
賞与引当金	2,117	1,126
役員賞与引当金	121	28
営業外電子記録債務	945	1,249
工場閉鎖損失引当金	12	—
その他	5,713	7,237
流動負債合計	47,904	54,058
固定負債		
長期借入金	150	150
繰延税金負債	3,350	3,457
株式報酬引当金	376	322
退職給付に係る負債	38	48
その他	1,341	1,239
固定負債合計	5,257	5,218
負債合計	53,161	59,276
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,051	13,051
資本剰余金	13,243	13,243
利益剰余金	109,713	110,495
自己株式	△5,781	△5,781
株主資本合計	130,226	131,008
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,623	9,732
為替換算調整勘定	4,093	5,262
退職給付に係る調整累計額	537	536
その他の包括利益累計額合計	14,253	15,531
非支配株主持分	2,552	2,642
純資産合計	147,032	149,182
負債純資産合計	200,194	208,459

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	38,057	44,336
売上原価	29,370	36,216
売上総利益	8,687	8,120
販売費及び一般管理費	5,595	6,163
営業利益	3,091	1,956
営業外収益		
受取利息	35	44
受取配当金	185	322
不動産賃貸料	32	33
為替差益	55	1,761
持分法による投資利益	174	219
その他	82	64
営業外収益合計	566	2,446
営業外費用		
支払利息	11	18
不動産賃貸原価	13	17
棚卸資産廃棄損	13	46
その他	37	61
営業外費用合計	76	143
経常利益	3,581	4,259
特別利益		
投資有価証券売却益	13	—
受取保険金	5	3
特別利益合計	19	3
特別損失		
固定資産除却損	209	370
特別損失合計	209	370
税金等調整前四半期純利益	3,391	3,892
法人税等	1,076	1,209
四半期純利益	2,314	2,683
非支配株主に帰属する四半期純利益	120	146
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,193	2,536

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	2,314	2,683
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△633	109
為替換算調整勘定	142	1,193
退職給付に係る調整額	13	△0
その他の包括利益合計	△477	1,303
四半期包括利益	1,837	3,986
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,738	3,796
非支配株主に係る四半期包括利益	99	189

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,391	3,892
減価償却費	2,388	2,464
固定資産除却損	209	370
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,095	△1,001
退職給付に係る資産負債の増減額 (△は減少)	0	△16
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△70	△93
株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	△11	△53
受取利息及び受取配当金	△220	△367
支払利息	11	18
持分法による投資損益 (△は益)	△174	△219
投資有価証券売却損益 (△は益)	△13	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△455	△1,023
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,248	△1,837
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,346	4,776
その他	141	△359
小計	3,198	6,551
利息及び配当金の受取額	257	675
利息の支払額	△11	△18
法人税等の支払額	△1,433	△1,902
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,010	5,306
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△1,869	△2,023
投資有価証券の売却による収入	21	—
投資有価証券の取得による支出	—	△98
長期貸付金の回収による収入	240	0
長期貸付けによる支出	△147	△111
その他	26	△731
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,729	△2,964
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,000	247
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△1,740	△1,853
非支配株主への配当金の支払額	△223	△100
その他	△31	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,996	△1,751
現金及び現金同等物に係る換算差額	61	589
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,654	1,181
現金及び現金同等物の期首残高	23,647	18,171
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	333
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,993	19,687

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	合計
	生活・健康 産業関連分 野	石油・輸送 機産業関連 分野	プラスチ ック・織 維産業関 連分野	情報・電 気電子産 業関連分 野	環境・住設 産業関連分 野他	計		
売上高								
外部顧客への売上高	11,986	10,354	6,570	5,101	4,044	38,057	—	38,057
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	12	12	△12	—
計	11,986	10,354	6,570	5,101	4,057	38,070	△12	38,057
セグメント利益	95	1,173	1,093	685	384	3,432	△341	3,091

(注1) セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用341百万円が含まれております。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない新規事業に係る研究開発費であります。

(注2) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	合計
	生活・健康 産業関連分 野	石油・輸送 機産業関連 分野	プラスチ ック・織 維産業関 連分野	情報・電 気電子産 業関連分 野	環境・住設 産業関連分 野他	計		
売上高								
外部顧客への売上高	15,124	11,526	7,126	5,938	4,620	44,336	—	44,336
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	27	27	△27	—
計	15,124	11,526	7,126	5,938	4,648	44,364	△27	44,336
セグメント利益	122	659	794	628	121	2,327	△371	1,956

(注1) セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用371百万円が含まれております。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない新規事業に係る研究開発費であります。

(注2) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(全社費用の配賦方法の見直し)

当第1四半期連結累計期間より、従来、各報告セグメントに配分していた新規事業に係る研究開発費については、各報告セグメントの業績をより適切に把握するため、全社費用として区分しております。

これにより、従来の算定方法に比べて、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益が、生活・健康産業関連分野において81百万円、石油・輸送機産業関連分野において82百万円、プラスチック・繊維産業関連分野において87百万円、情報・電気電子産業関連分野において71百万円、環境・住設産業関連分野他において48百万円それぞれ増加し、セグメント利益の調整額が371百万円減少しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の配賦方法により作成したものを記載しております。

<参考>

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年6月30日）（単位：百万円）

	日本	米国	中国	その他の地域	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	29,058	1,787	4,559	2,652	38,057	—	38,057
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,110	—	329	96	2,535	△2,535	—
計	31,169	1,787	4,888	2,748	40,593	△2,535	38,057
営業利益(又は営業損失)	3,273	67	△113	△150	3,076	15	3,091

当第1四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年6月30日）（単位：百万円）

	日本	米国	中国	その他の地域	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	31,156	2,387	6,731	4,060	44,336	—	44,336
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,586	19	401	222	3,230	△3,230	—
計	33,742	2,407	7,133	4,282	47,566	△3,230	44,336
営業利益(又は営業損失)	1,492	16	316	108	1,933	22	1,956

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年6月30日）（単位：百万円）

	アジア	(うち中国)	アメリカ	その他の地域	計
I 海外売上高	12,859	(7,255)	2,069	987	15,917
II 連結売上高	—	—	—	—	38,057
III 連結売上高に占める海外売上高の 割合(%)	33.8	(19.1)	5.4	2.6	41.8

当第1四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年6月30日）（単位：百万円）

	アジア	(うち中国)	アメリカ	その他の地域	計
I 海外売上高	16,283	(9,586)	2,919	1,507	20,710
II 連結売上高	—	—	—	—	44,336
III 連結売上高に占める海外売上高の 割合(%)	36.7	(21.6)	6.6	3.4	46.7

(注) 1. 海外売上高は、当社(単体)及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

2. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

3. 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) アジア : 韓国、中国、インドネシア、インド、タイ 他

(2) アメリカ : 米国、メキシコ、ブラジル 他

(3) その他の地域 : オーストラリア、ヨーロッパ、ロシア、中東 他

3. 補足情報

四半期ごとの連結業績推移

前連結会計年度

(単位：百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計 2022年3月期
	(2021年4月～6月)	(2021年7月～9月)	(2021年10月～12月)	(2022年1月～3月)	
売上高	38,057	39,461	43,327	41,680	162,526
営業利益	3,091	2,826	3,681	2,268	11,868
経常利益	3,581	3,280	4,511	1,398	12,771
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,193	2,224	3,083	△802	6,699
四半期包括利益又は 包括利益	1,837	2,402	3,689	152	8,082

当連結会計年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (2022年4月～6月)	伸び率 (%)	
		前年同期(1Q)比	前四半期(4Q)比
売上高	44,336	16.5	6.4
営業利益	1,956	△36.7	△13.7
経常利益	4,259	18.9	204.6
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,536	15.6	-
四半期包括利益又は 包括利益	3,986	116.9	-